

降雪に伴う農作物等の技術対策

(農業戦略課)

令和5年2月10日にかけて、県内では山地を中心に降雪が予想されます。

1 農産物等への影響と技術対策

(令和5年2月9日作成)

| 作物 | 想定される影響 | 技術対策 |
|----|---------------|--|
| 共通 | 着雪によるハウスの倒壊 | <p>(事前対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根への着雪が予想される場合は、仮支柱を立て、屋根の強度を確保する。 ・別添 チェックリストを参照 降雪直前の対策 <p>(事後対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪が降り始めたら、加温設備がある場合は、可能な範囲で室温を高め、内部被覆（二重カーテン）を開放して屋根面を暖め、屋根の着雪の滑落を図る。 ・無加温の場合は、施設の機密性を高め、内部被覆（二重カーテン）を開放し、地熱放射により屋根の着雪の滑落を図る。 |
| 果樹 | 梨などの防鳥ネット等の破損 | <ul style="list-style-type: none"> ・防鳥、防虫ネットを張ってある場合は、事前に除去する。 |
| | 枝折れ | <p>(事前対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝に支柱をしたり、吊り柱で枝を吊る。 <p>(事後対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝に積もった雪を落とし、枝折れを防ぐ。 ・折れ枝や裂けた枝は切除し、切り口に癒合促進剤を塗布する。被害程度に応じ、裂けた枝を引き上げ、裂け目への保護剤塗布とテーピングを行う。 |